

町村をむすぶ

MIYAGI 宮城 町村会だより

<https://www.miyagi-ck.gr.jp>

2024
6-7
Vol.521



宮城県町村会のうごき

共済事業アレコレ

町村通信 21 ～山元町～

「キラリやまもと！

みんなでつくる笑顔あふれるまち」

東北最大級のとうもろこし畑の巨大迷路

コロナ禍で失われてしまった子どもたちの夏の思い出づくりを何とかしたいと始まった飼料用とうもろこし畑を使った巨大迷路イベントです。涌谷町の新たな風物詩を目指して4回目を迎える今回も約1.8ヘクタールの巨大迷路が出現します。開催日は、8月3日(土) 4日(日)の2日間を予定しています。

写真・文 提供／涌谷町

宮城県主催 市町村長会議

5月31日、江陽グランドホテルにおいて、宮城県主催の市町村長会議が開催されました。本会からは齋清志会長をはじめ21町村長（代理出席含む）が出席いたしました。

席上、町村長を代表して齋会長が村井嘉浩宮城県知事に対して要望した事項およびそれに対する知事の回答要旨は、次のとおりです。

① 自治体間の格差拡大について

町村では、人口規模や産業構造がそれぞれ異なる中で各種行政サービスを提供しているが、その財源について財政力が弱い町村においては中長期にわたって安定した財源の確保が難しい状況にある。住民にとって

利便性の高い「マイナンバー」を利用したコンビニ交付サービスや子育て世帯の経済的負担の軽減に繋がる「小中学校の学校給食無償化」、また、GIGAスクールの端末等機器類の更新や教員ICTスキルについて、自治体間で行政サービスの差が広がらないように国が責任をもって対応するとともに、県においては安定した財源を確保すること。

【知事回答要旨】

マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスについては、大変利便性の高いサービスである一方で、維持管理経費等の負担により自治体間で行政サービスに差が生じないように、国に対して自治体DXの推



町村長を代表して要望する齋会長



村井嘉浩宮城県知事

進に係る支援を拡充するよう働きかけていく。学校給食費についても、全額国庫負担による措置を要望しており、国の動向に注視していく。児童生徒用端末更新費用については、県が中心となつて行う共同調達により調達経費削減を図る。教員のICTスキルの向上については、各種研修の実施のほか、今年度から新たに市町村へ学びのDX推進アドバイザーを派遣することとしている。

② 観光振興と宿泊税について

新型コロナウイルス感染症により大きく落ち込んだ観光需要は、「宿泊割キャンペーン」といった旅行支援の実施や訪日外国人旅行者の増加などにより回復基調にあるが、コロナ禍により観光業から離れた労働者は依然として戻らず、人手不足が顕著になっている。観光需要の回復を進めていくためには、町村の豊かな自然・多様な文化・特色ある観光資源を活かしながら、旅行者の受け入れ環境整備や誘客の強化などを推し進める必要があることから、広域的に連携しながら観光地域づくりに取り組みとともに、受け皿となる観光業従事者の人材確保に向けた支援をすること。また、現在導入検討中の宿泊税については、宿泊事業者の理解が得られるよう最大限の努力を図るとともに、条例案を提出する際には、国内外から宿泊者の増加につながる事業や市町村の広域的連携による観光振興施策の取り組みについても支援すること。

【知事回答要旨】

観光需要の本格的な回復に向けて、今年度は歴史的資源を活用した観光キャンペーンの展開や宮城オル

レ、宮城アンバサダーサミットの開催等により、国内外からの誘客を図っていく。また、宿泊施設におけるインターンシップの導入等により、観光人材の育成確保を強化していく。なお、宿泊税の導入にあたっては、引き続き丁寧な説明に努めるとともに、税収を活用した広域観光振興についても検討していく。

③ 人口減対策について

先般、有識者でつくる人口戦略会議において、新たな地域別将来推計人口に基づく「消滅可能性自治体」リストが公表されたが、国内の総人口が減少する中であって、町村は安心して暮らしていけるよう持続可能な社会を実現するため、人口減少の対応や独自の地域づくりに懸命に取り組んでいるところである。地方の人口減少の要因は東京圏への一極集中と少子化であり、町村の努力だけでは抜本的な改善を図られるものではないため、まずは国全体としてこれまでの政策を検証し、効果的な対策を講じるとともに、県としても国と力を合わせて持続可能を目指す町村の取り組みに対して一層の支援をすること。

【知事回答要旨】

人口減対策については、国が抜本的な自然減対策と東京一極集中の是正に取り組みとともに、地方は働きやすく子育てしやすい環境づくりに取り組む必要がある。県では今年度から少子化対策支援市町村交付金の補助上限引き上げやメニュー拡充をしたところで、引き続き市町村と力を合わせ、人口減少対策に力を尽くしていく。

災害共済事業担当者会議

6月7日、宮城県自治会館において、令和6年度災害共済事業担当者会議を開催しました。

各市町村や一部事務組合の共済事務担当者などの出席により開催された会議では、①全国町村職員生活協同組合の各共済事業（火災共済・自動車共済・特定疾病保険・生活総合保険）②職員個人年金共済③職員任意共済（生命・医療・収入補償）保険④非常勤職員公務災害補償保険⑤自治体委託業務等災害補償保険⑥職員団体生命共済（弔慰金）⑦ジブラルタ生命保険⑧公有建物・自動車共済事業⑨総合賠償補償保険⑩災害対策費用保険の制度の概要などについて説明しました。

仙台空港鉄道にポスターを 掲示しています！

仙台空港鉄道株式会社様にご協力いただき、仙台空港アクセス線の連絡通路にて月替わりで各町村の広告ポスターを掲出してあります。

仙台空港アクセス線をご利用の際はぜひ一度足を止めて、各町村の魅力が詰まったポスターをご覧ください。

行政課題研修Ⅰ

5月24日、宮城県自治会館において、令和6年度行政課題研修Ⅰを実施しました。

研修は、各市町村の面接試験担当課長など39名が参加し、面接の実践を支える基本的事項についての研修を行いました。

講師の公益財団法人日本人事試験研究センター・吉住夕起や事務局参与から、面接試験の基本的な知識、適切な質問や的確な評価を行うために必要な事項についての説明と、ロールプレイ形式の研修を行いました。

今年度から初めて面接試験に携わる参加者が多かった中、参加者からは、「ロールプレイを通じて、面接試験内で適切な評価に繋がる回答を引き出すことの難しさを実感した」との感想があるなど、充実した研修となりました。



講師の住吉夕起や参与

みやぎの21町村

応援キャンペーン

宮城県町村会では、県内21の町や村に実際に訪れ、観光やイベント等の体験を通して、その地域にしかない魅力を深く知ってもらうためのきっかけづくりとして、本キャンペーンを実施いたします。キャンペーンに参加された方の中から、抽選で300名に5,000円相当の町村特産品をプレゼントいたします。

○応募要件

キャンペーン期間内に宮城県内21町村のうち、1町村を訪れ、税込2,000円以上を消費された方。県内在住の方は住所地以外の1町村を訪れて消費された方。

○消費対象

各町村での飲食費、土産代、宿泊費、観光施設等の利用料、拝観入場料、体験料等。

※コンビニや駐車場料は対象外です。

○キャンペーン実施期間

令和6年7月1日（月）から令和6年10月31日（木）まで

※応募締切は令和6年11月2日（土）まで

○応募方法

宮城県内21町村の各役場、または道の駅などに設置してある応募用紙の封筒を使用してキャンペーン事務局あてに郵送いただくか、キャンペーンパンフレットまたは特設ページに掲載の応募フォームからご応募ください。

キャンペーン特設ページ：・

<https://machico.mu/special/detail/2698>

町村会日誌

5月

▼14日

政務委員会幹事会
（宮城県自治会館）
行政課題研修Ⅰ
（宮城県自治会館）

▼24日

6月

▼6日

消防実務・事務担当者研修会（宮城県自治会館）
災害共済事業担当者会議
（宮城県自治会館）

▼7日

宮城県町村会監事会
（宮城県自治会館）

▼17日

北海道東北六県町村会事務局長会議

▼18日

「町村の振興を考える会」（全国町村会館）齋会長出席

▼19日

全国自治協会評議員会
全国町村会政務調査会
全国町村会理事會
都道府県町村会会長
全国町村職員生活協同組合総代会全国町村会館）齋会長出席

▼20・21日

北海道東北六県災害共済担当部課長会議

▼25日

（JALシティ仙台）
正副会長会議、町村長会議、政務委員会
（宮城県自治会館）

▼27・28日

北海道東北六県町村会会長会議（秋田県）齋会長出席



こども家庭センター



大條家茶室（完成予想図）



深山山麓少年の森(BMX)

山元町では「町民が主人公のまち・山元町」の実現に向け、第6次総合計画実施計画（後期計画）の初年度となる今年度は、これまで取り組んできた各種事業を新たなステージへと進める、まちづくりの「進化の年」としていきます。

今年度は「子育てするなら山元町」として、妊娠期から子育て期まで切れ目のない一体的な相談支援を行う「こども家庭センター」の設置や町内小・中学校児童・生徒に対する保護者の経済的負担を軽減するため「小・中学校給食費無償化」を行い、本町の

子育て環境の更なる充実を図ります。

また、「未来へつなぐ山元町」として、町民が誇りを持つて継承し、郷土愛の醸成を図るため、地域と調和のとれた「町指定文化財『大條家茶室』」の修復・活用や賑わいと活気にあふれる「深山山麓少年の森」の拡張・改修を行い、交流人口の拡大と魅力ある地域づくりを行います。

今後も、町の将来像の「キラリやまもと！みんなでつくる笑顔あふれるまち」を目指し、まちづくりに取り組んでいきます。

町村通信

21

山元町

◆県内21の町村からお伝えします

「キラリやまもと！」

みんなでつくる笑顔あふれるまち」

町村会の予定

7月

- 4日 全国町村会理事会
都道府県町村会会長
- 10日 全国市町村水産業振興対策協議会
常任理事会（～11日）
- 14日 市町村職員採用統一試験（上・中級）
- 16日 町村長視察研修（～18日）
- 30日 令和7年度政府予算編成並びに施策に関する要望実行運動－（自由民主党本部・宮城県関係国会議員）
- 31日 令和7年度政府予算編成並びに施策に関する要望実行運動－（政府関係省庁）



8月

- 5日 北海道東北六県町村会協議会中央要請活動
- 9日 税務課長代表者会議
- 23日 行政課題研修Ⅲ
- 27日 政務委員会幹事会

共済事業アレコレ

自動車事故にあったときには

自動車を運転していれば、いつ事故に遭うかわかりません。事故が発生したら以下のような点に注意して焦らずに対処しましょう。

- ・けが人・損害の確認と危険防止措置
けが人がいる場合、速やかに救護し、必要なら救急車を手配するとともに、事故車を安全な場所に移動させるなど、路上の危険防止措置を行って下さい。
その後、損害状況を確認し警察に通報してください。通報しなかった場合、事故証明書が取得できず対応できない場合もあります。
- ・口頭で賠償の約束をしない
事故の過失割合は過去の判例などを参考に交渉しますが、動いている車同士の事故であればほとんどの場合お互いに過失が発生します。
事故現場で相手への賠償を約束してしまうと、後々の交渉に差し支える可能性がありますので、ご注意ください。

- ・事故処理が終わったら
現場での事故処理が終了したら、休日夜間でも対応可能な事故受付フリーダイヤルでご連絡ください。受付後は専属調査員がお相手との示談締結に向けた調査連絡にあたらせていただきます。

事故受付フリーダイヤル TEL0120-258-459
総務・事業課（共済担当）TEL022-221-9203

円満な事故解決のため、ご契約者様の適切な初動対応と迅速な連絡をお願いします。